

著者はプロサッカーチームのコーチを務めたことのある方です。コーチの経験から、教え込もうとする大人の頭の固さを問題にしています。子どもに問いかけ、指導するようになった学校では、子どもたちが自分で考え始めると、冒頭で述べています。

◆人が愛を感じる5種類

- | | | |
|------|----------|-------|
| 1 時間 | 2 サービス | 3 ギフト |
| 4 言葉 | 5 スキンシップ | |

→ (相手が子どもなら)

- 1 時間 (いっしょに遊んでくれる)
- 2 サービス (笑顔で応えてくれる)
- 3 ギフト (プレゼントをくれたり、買ってくれたり)
- 4 言葉 («大好きだよ」「生まれてきてくれてありがとう」)
- 5 スキンシップ (手をつなぐ、抱っこ、ハグ)

◆3つの過干渉・・・子どもの自主性を阻害する

- その1 「ダメ」というひと言の危うさ
- その2 「心配」という親心の矛盾
- その3 答えを用意する「先回り症候群」